



日刊 労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936番
(公) 043(222)7207番

96.3.26 No. 4365

幕張・津田沼・うらわく 春闘スト

3.22ストライキ 総決起集会 報告

動労千葉は、三月二十二日十時三〇分より、千葉市民会館において、組合員二八〇名の結集で「九六春闘勝利・動労千葉決起集会」を開催した。

集会を始める前に、八五〇〇の大結集で開催された「沖縄県民総決起大会」のビデオが上映された。米軍による少女暴行事件に、沖縄の怒りが爆発したものであり、太田知事を先頭に「もう我慢できない。沖縄に基地はいらない。」と沖縄県民の総意がひとつになつたものであつた。

続いて集会に入り、最初に中野委員長が演壇に立ち、九六春闘の在り方について「日経連は、戦後の労使関係を破壊しようとしない・ベア論外」を叫び、その賃金も『個々別々に評価し配分する』として、労働組合そのものを否定し、春闘を破壊しようとしている。JR総連は『ワーキング・エアーリング』を前面に押し出し、資本の先兵になつて国労解体を叫んでいる。しかし、JR東労組では分裂が始まり春闘など

ころではない。九六春闘は、「国鉄分割・民営化一〇年目の決戦」と「沖縄の軍用地使用期限切れ」が焦点になる。太田知事の基地使用拒否により日米安保はガタガタだ。そして沖縄県民が怒りを結集して東京で集会をやる。この時は一〇万人のデモで資本を圧倒しなければならない。そして我々動労千葉の七二時間ストを始めとした『解雇撤回・清算事業団闘争勝利』に向けた闘いを強化し、来年も、その次の年も春闘をやりぬこうと、激を発し、春闘の必要性を訴えた。

3.22 総決起集会
(市民会館)

そして各支部代表より決意表明を受け、組合歌を合唱し、中野委員長の团结ガンバロウで集会は終了した。

JR体制を打倒しよう。そして貨物の回答次第で新小岩・佐倉を拠点とした第二波ストを打ちこなす。京葉支部で一名動労千葉に新加入した。今こそ反転攻撃の時だ。」と力強く訴えた。

続いて石幡幕張支部長、高沢津田沼支部書記長より決意表明を受け、そして沖縄派遣団を代表して川崎執行委員より「沖縄の労働者と連帯して闘つてきます。」と決意を訴えた。



3.31 沖縄(東京)
集会 ちば 11.16 快

3.22 貨物回答
予定日、ヤニ波
ストライキ!!